

近畿大学医学部消化器内科 主任教授 工藤正俊教授が第 108 回日本消化器病学会総会において第 6 回日本消化器病学会学術賞を受賞されました。

この賞は、消化器病学の進歩のために多大なる学術的貢献をされた研究者 2 名(基礎 1 名・臨床 1 名)に与えられる日本消化器病学会の最高賞であります。過去の受賞者には小俣 政男先生(東京大学 名誉教授)、渡辺 守先生(東京医科歯科大学 名誉教授)、小池 和彦先生(東京大学 名誉教授)、坪内 博仁先生(鹿児島大学 名誉教授)、茶山 一彰先生(広島大学 教授)、岡上 武先生(京都府立医科大学 名誉教授)、金子 周一先生(金沢大学 名誉教授)、金井 隆典先生(慶応義塾大学 教授)等の錚々たる基礎および臨床の研究者が表彰されております。

今回第 6 回の表彰者は基礎分野で竹原 徹郎先生(大阪大学消化器内科 教授)、臨床分野で工藤正俊(近畿大学医学部消化器内科 主任教授)が受賞しました。2022 年 4 月 21 日に第 108 回日本消化器病学会総会において受賞式が行われ、翌 22 日に受賞講演が行われました。受賞講演は他のプログラムを全て止めたうえで、全ての参加者がこの受賞講演に聴講するスタイルで行われました。

<https://www.kindai.ac.jp/.../news/topics/2022/04/035614.html>